

東京都中央卸売市場会計 経営レポート

令和7（2025）年5月

 東京都中央卸売市場

はじめに

東京都は、令和4年3月に、中央卸売市場が、将来にわたって都民生活を支える重要な役割をしっかりと果していけるよう、東京都中央卸売市場経営指針（令和3年3月策定）に掲げる「2040年代の中央卸売市場の姿」及び「持続可能な市場経営」の実現に向け、東京都中央卸売市場経営計画（以下「経営計画」という。）を策定いたしました。

経営計画では、持続可能な市場経営のためには経常収支の黒字化が不可欠であり、遅くとも2040年代に黒字化することを目指すこととしております。これらを達成するために、計画期間内において、経営改善に取り組むことに加え、各市場の取扱数量や取扱金額を伸ばし、使用料収入を増加させるとともに、将来を見据えて市場使用料のあり方を検討することなどが必要であることとしております。

令和6年5月に初めて公表した「東京都中央卸売市場会計 経営レポート」について、内容を充実させた上で、市場会計の状況をより精緻に把握、分析することで、今後の更なる経営改善に向けた検討素材として、また、市場会計のおかれている状況や東京都の経営改善の取組等をわかりやすく発信することを目的に、作成しました。

目次

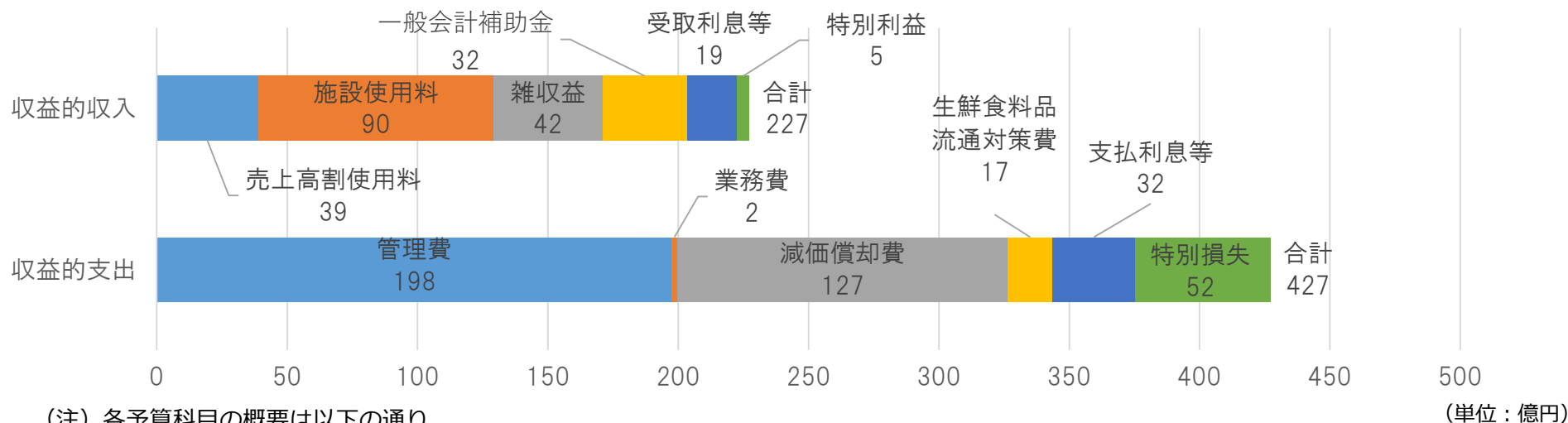
1. 令和7年度予算の概要	3	令和5年度の実績と財政収支計画	18
令和7年度予算の概要	4	3. 経営改善の取組	19
令和7年度予算の主要事業	6	市場会計における今後の課題	20
2. 財政分析	8	経営改善の取組①	
令和5年度決算の概要	9	(市場運営費の縮減)	21
管理費分析①	11	経営改善の取組②	
管理費分析②		(起債抑制による支払利息の圧縮)	22
(管理費の推移と増加要因)	12	経営改善の取組③	
費用分析(他都市の中央卸売市場の		(未利用資産の有効活用)	23
財政状況)	13	4. 市場活性化に向けた取組	24
一般会計からの繰入れ	14	東京都中央卸売市場における市場活性化に	
一般会計からの繰入れ(補助金の内訳		に向けた取組(全体マップ)	25
(令和5年度決算))	15	I 市場施設の施設整備	26
他都市の中央卸売市場の一般会計の		II 市場業者の経営基盤の強化	27
繰入れ状況	16	III 社会的課題への取組	28
令和5年度決算のキャッシュフロー		IV 強固で弾力的な財務基盤の確保	29
分析	17	参考資料	30

1. 令和7年度予算の概要

令和7年度予算の概要（収益的収支）

- 令和7年度予算案の収益的収入は、約227億円で、その主な内訳は、売場等の施設に課される施設使用料が約90億円、市場業者等からの光熱水費の受入等の収入である雑収益が約42億円となっています。
- 収益的支出は、約427億円で、その主な内訳は、人件費や市場施設の維持管理等の経費である管理費が約198億円、減価償却費が約127億円となっています。
- この結果、収益的収支は、差し引き約200億円のマイナスとなっています。

令和7年度予算（収益的収支）の概要



【収益的収入】

売上高割使用料：取扱金額に品目ごとに定められた率を乗じて課される使用料
 施設使用料：売場等の施設に課される使用料
 雑収益：市場業者等からの光熱水費の受入等の収入
 一般会計補助金：一般会計からの補助金
 受取利息等：預金利子等の営業外収益（一般会計補助金を除く）
 特別利益：固定資産の売却差益等

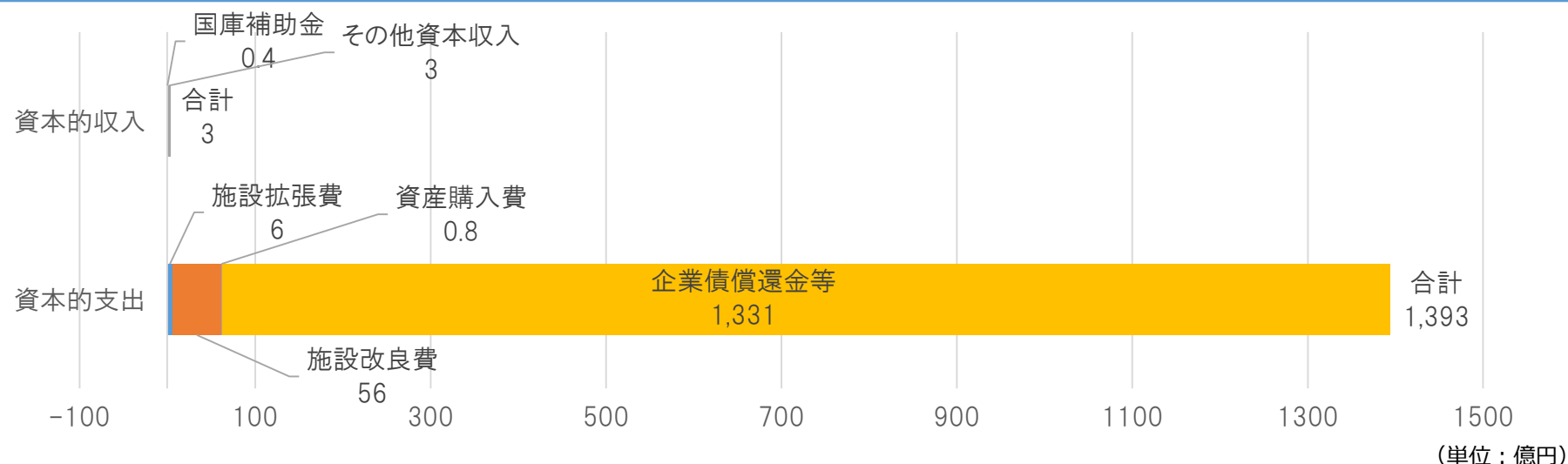
【収益的支出】

管理費：人件費や市場施設の維持管理等に要する経費
 業務費：市場取引の指導監督等に要する経費
 減価償却費：固定資産の償却費
 生鮮食料品流通対策費：生鮮食料品の流通対策事業等に要する経費
 支払利息等：支払利息等の営業外費用（生鮮食料品流通対策費を除く）等
 特別損失：固定資産の除却費等

令和7年度予算の概要（資本的収支）

- 令和7年度予算案の資本的収入は約3億円で、主な内訳は、国庫補助金等となっています。
- 資本的支出は、約1,393億円で、主な内訳は、企業債償還金等が約1,331億円、主に施設等の更新、改修等に要する経費である施設改良費が約56億円となっています。
- この結果、資本的収支は、差し引き約1,390億円のマイナスとなっており、損益勘定留保資金などにより補てんします。

令和7年度予算（資本的収支）の概要



(注) 各予算科目の概要は以下の通り

【資本的収入】

国庫補助金：建設改良事業に対する国庫補助金収入
その他資本収入：固定資産の売却代金等

【資本的支出】

施設拡張費：施設等の拡張に要する経費
施設改良費：主に施設等の更新、改修等に要する経費
資産購入費：工器具、備品等の購入費
企業債償還金等：企業債の元金償還金等

【支出】 令和7年度予算の主要事業

【収益的支出】

(単位：百万円)

事業名	予算額	事業内容
経営強靱化推進事業	500	エネルギー価格や原材料価格の上昇等による物価高騰の継続に加え、市場取引を支える人材の不足等、現下の環境変化に対し、市場業者が的確に対応し事業の成長や発展につなげていくため、業務効率化や新たな販路開拓に向けたD Xの活用等、市場業者の意欲ある取組を後押しする。
(新規) 市場物流効率化推進事業	20	卸売市場の開設者として、法改正を踏まえ、市場の物流効率化を推進するため、市場業者向けに情報発信や個別相談を実施する。
(新規) 先端技術の活用等による業務効率化事業	12	局内業務についてBPR（業務プロセスの最適化）の徹底や先端技術の活用等によってサービスの質の向上と一層の業務効率化を推進するため、業務改善コンサルティングによる調査検討を行う。
(新規) 市場施設の運営に係る強化・推進	20	人手不足が深刻化する中、持続可能な市場運営体制を確保していくため、先端技術活用の可能性や、今後の施設・設備の整備の方向性など、卸売市場における最適な市場施設運営のあり方の調査検討を行う。
(新規) 災害対策マニュアル運用訓練支援	12	令和6年度に改訂を予定している中央卸売市場BCPの実効性を確保していくため、BCPの効果検証を図る訓練を実施する。
(新規) 再生可能エネルギーマネジメント事業	15	市場のゼロエミッション化に向け、各市場における電力使用の実態調査などを行い、環境に配慮した取組みを推進する。

(出典) 令和7年度予算より作成

【支出】 令和7年度予算の主要事業

【資本的支出】

(単位：百万円)

市場	予算額	主な事業名	事業内容
豊洲市場	215	6 街区壁面緑化改修工事ほか	壁面緑化の改修を行う。
食肉市場	1,496	市場棟北側冷蔵庫改修工事ほか	2020年に製造中止となった特定フロンであるR22を冷媒に使用している、老朽化した冷蔵庫の改修工事を行う。
大田市場	1,420	青果棟屋上防水改修工事ほか	老朽化した屋上の防水改修工事を行う。
豊島市場	3	5 号館荷捌場梁補修工事ほか	老朽化した構造部材の補修工事を行う。
淀橋市場	74	淀橋市場拡張整備事業正門巡視詰所新築工事ほか	淀橋市場における、狭隘な敷地を立体的かつ効率的に活用した市場機能の拡張整備について、令和8年度からの新総合事務所棟（仮称）整備工事に向けて必要な工事等を行う。
足立市場	1,061	冷蔵庫棟冷蔵庫改修工事ほか	2020年に製造中止となった特定フロンであるR22を冷媒に使用している、老朽化した冷蔵庫の改修工事を行う。
板橋市場	811	板橋市場機能強化事業基本設計ほか	板橋市場の機能強化について、基本計画で策定した与条件をもとに基本設計等を行う。
世田谷市場	14	南棟等トイレ改修工事実施設計ほか	老朽化したトイレの改修工事を行う。
北足立市場	376	立体駐車場棟エレベータ更新工事ほか	老朽化したエレベータの更新工事を行う。
多摩ニュータウン市場	3	高圧ケーブル更新工事実施設計	老朽化した高圧ケーブルの更新工事を行う。
葛西市場	398	花き棟屋上防水改修工事ほか	老朽化した屋上の防水改修工事を行う。

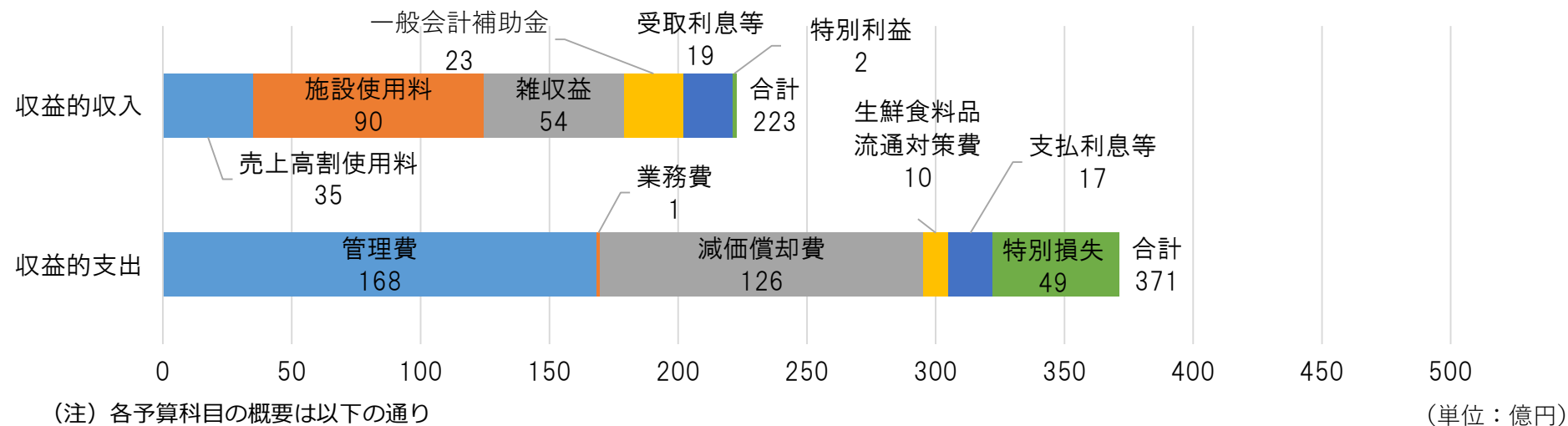
(出典) 令和7年度予算より作成

2. 財政分析

令和5年度決算の概要（収益的収支）

- 令和5年度決算の収益的収入は、約223億円（税込）で、その主な内訳は、売場等の施設に課される施設使用料が約90億円、市場業者等からの光熱水費の受入等の収入である雑収益が約54億円となっています。
- 収益的支出は、約371億円（税込）で、その主な内訳は、人件費や市場施設の維持管理等の経費である管理費が約168億円、減価償却費が約126億円となっています。
- この結果、収益的収支は、差し引き約148億円のマイナスとなっています。

令和5年度決算（収益的収支：税込）の概要



【収益的収入】

売上高割使用料：取扱金額に品目ごとに定められた率を乗じて課される使用料
施設使用料：売場等の施設に課される使用料
雑収益：市場業者等からの光熱水費の受入等の収入
一般会計補助金：一般会計からの補助金
受取利息等：預金利子等の営業外収益（一般会計補助金を除く）
特別利益：過年度損益の修正益等

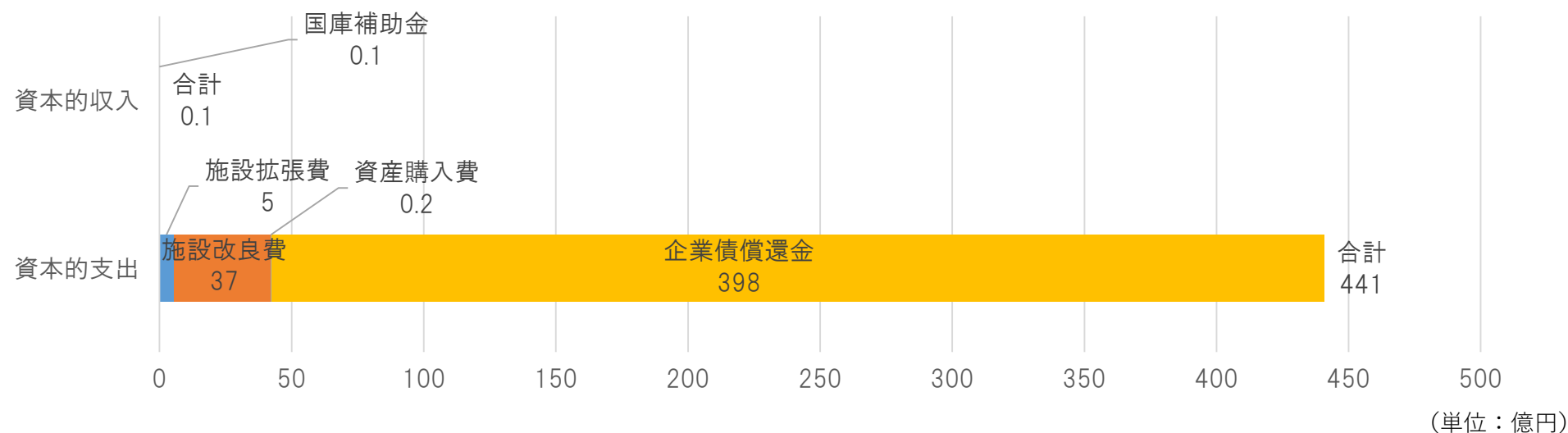
【収益的支出】

管理費：人件費や市場施設の維持管理等に要する経費
業務費：市場取引の指導監督等に要する経費
減価償却費：固定資産の償却費
生鮮食料品流通対策費：生鮮食料品の流通対策事業等に要する経費
支払利息等：支払利息等の営業外費用（生鮮食料品流通対策費を除く）等
特別損失：固定資産の除却費等

令和5年度決算の概要（資本的収支）

- 令和5年度決算の資本的収入は、約0.1億円で、その内訳は、国庫補助金収入となっております。
- 資本的支出は、約441億円で、主な内訳は、企業債償還金が約398億円、主に施設等の更新、改修等に要する経費である施設改良費が約37億円となっています。
- この結果、資本的収支は、差し引き約441億円のマイナスとなっており、損益勘定留保資金などにより補てんします。

令和5年度決算（資本的収支）の概要



(注) 各予算科目の概要は以下の通り

【資本的収入】

国庫補助金：建設改良事業に対する国からの補助金収入

【資本的支出】

施設拡張費：施設等の拡張に要する経費

施設改良費：主に施設等の更新、改修等に要する経費

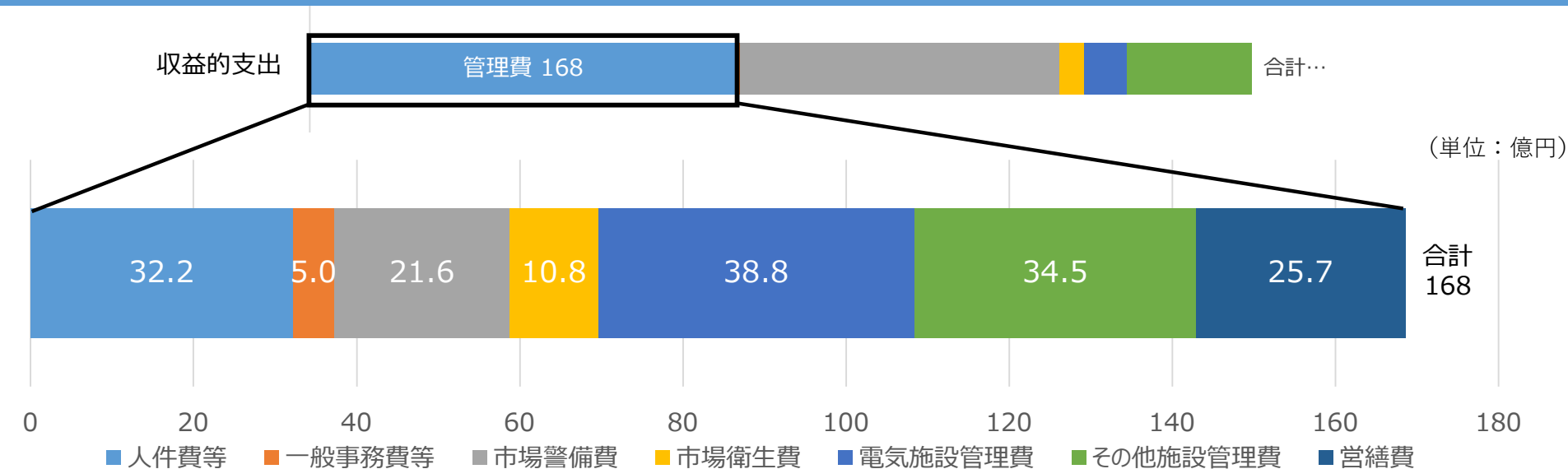
資産購入費：工器具、備品等の購入費

企業債償還金：企業債の元金償還金

管理費分析①

■ 令和5年度決算の管理費の内訳は、以下のとおりです。

管理費内訳

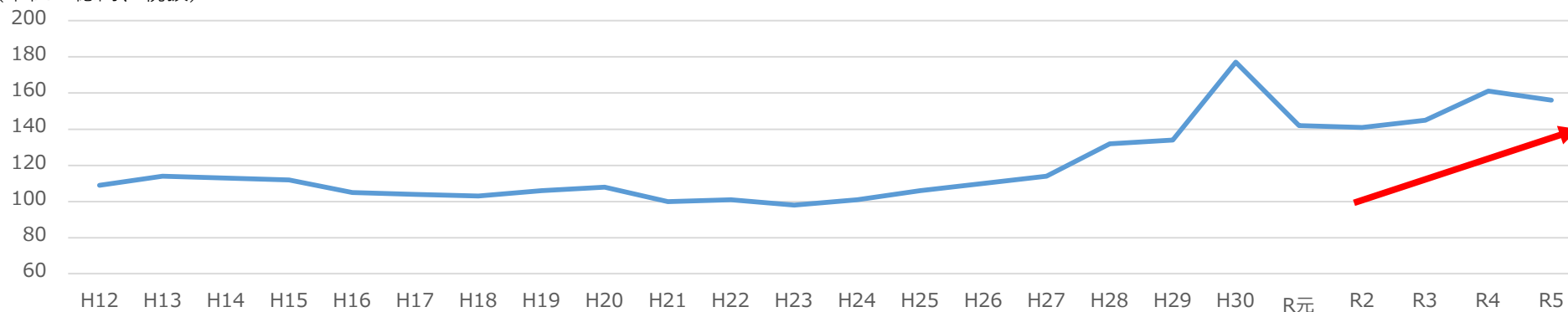


項目		内容	管理費に占める割合	
人件費等		職員の給料・手当等	19.1%	
一般事務費等		事務経費、審議会運営経費	3.0%	
施設管理費	市場警備費	市場の警備等に要する経費	62.7%	12.8%
	市場衛生費	市場内の清掃や環境対策に要する経費		6.4%
	電気施設管理費	市場内の電気料や電気施設の維持管理に要する経費		23.0%
	その他施設管理費	市場内の給排水施設、電話施設等の維持管理に要する経費		20.5%
営繕費		市場の建物・設備の補修等に要する経費	15.2%	

管理費分析②（管理費の推移と増加要因）

■ 管理費（人件費や市場施設の維持管理に要する経費）の推移

（単位：億円、税抜）

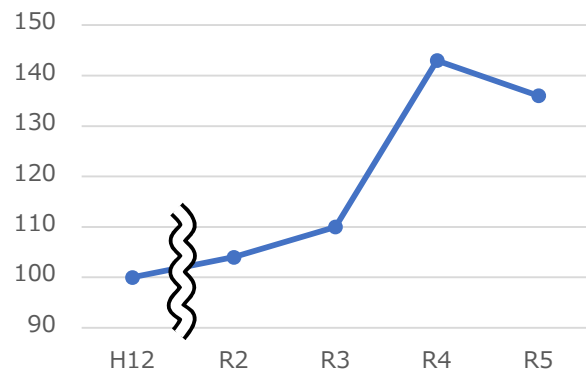


■ 管理費増加の内、物価高騰が要因の主な経費

➤ 光熱水費

－電気料金等の単価上昇等に伴う増加

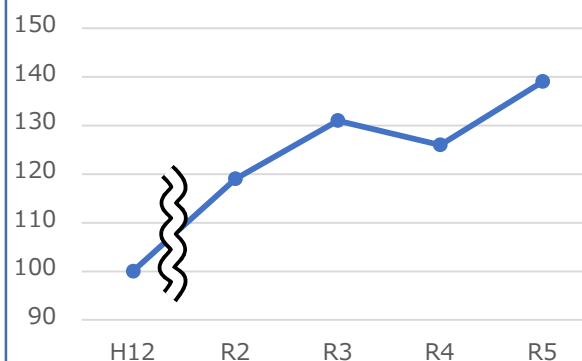
光熱水費の推移（H12 = 100）



➤ 営繕費

－労務単価等の上昇等に伴う増加

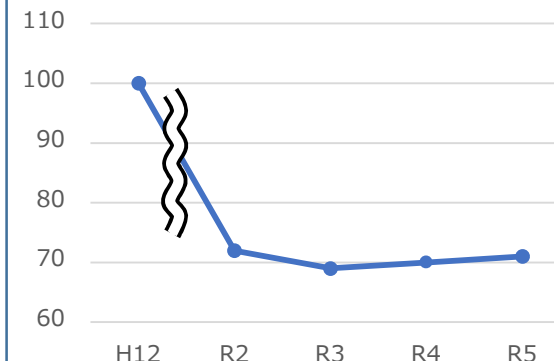
営繕費の推移（H12 = 100）



➤ 人件費

－職員数の減に伴う人件費の減

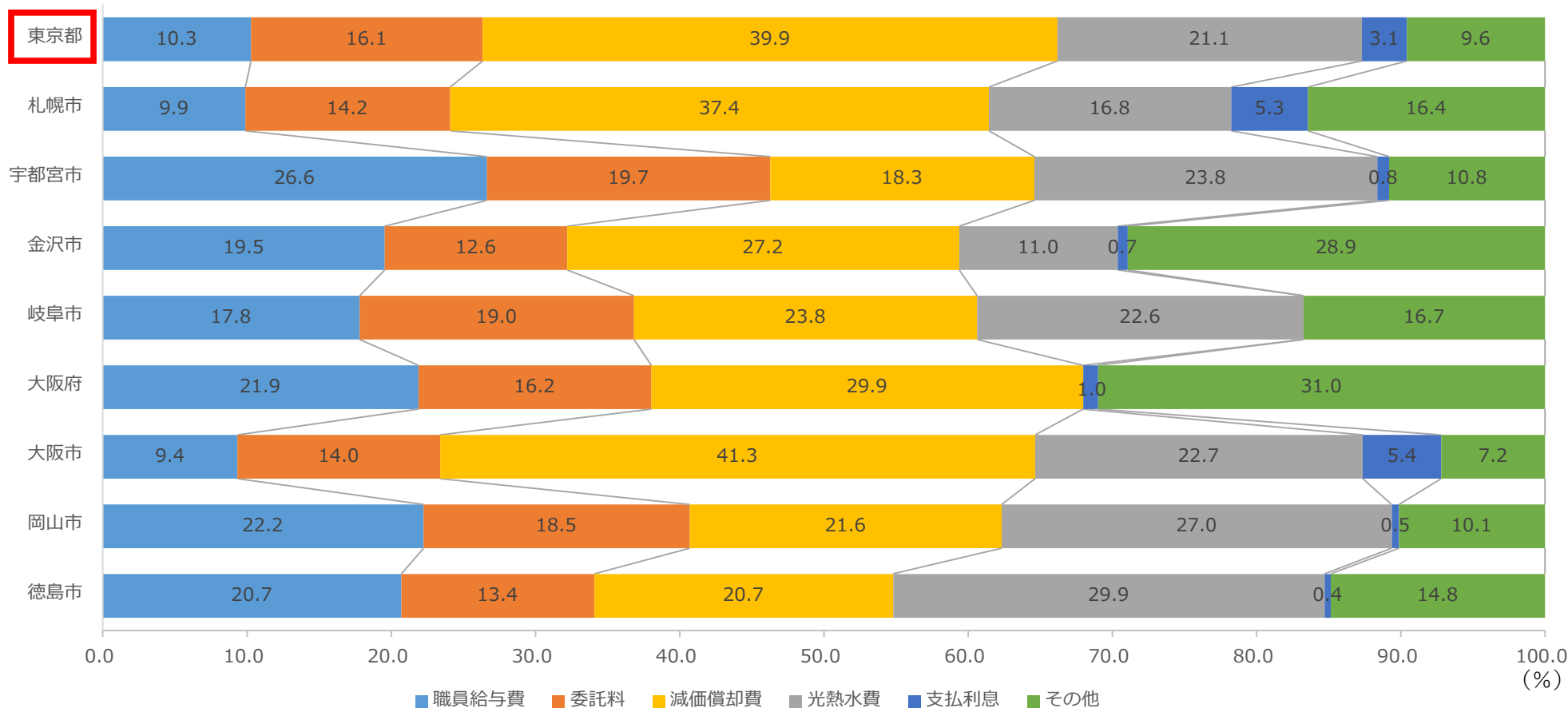
人件費の推移（H12 = 100）



費用分析（他都市の中央卸売市場の財政状況）

- 地方公営企業法を適用している 9 都市のそれぞれの会計の、経常費用の内訳の割合で比較しました。

経常費用の内訳（他都市比較：決算ベース）

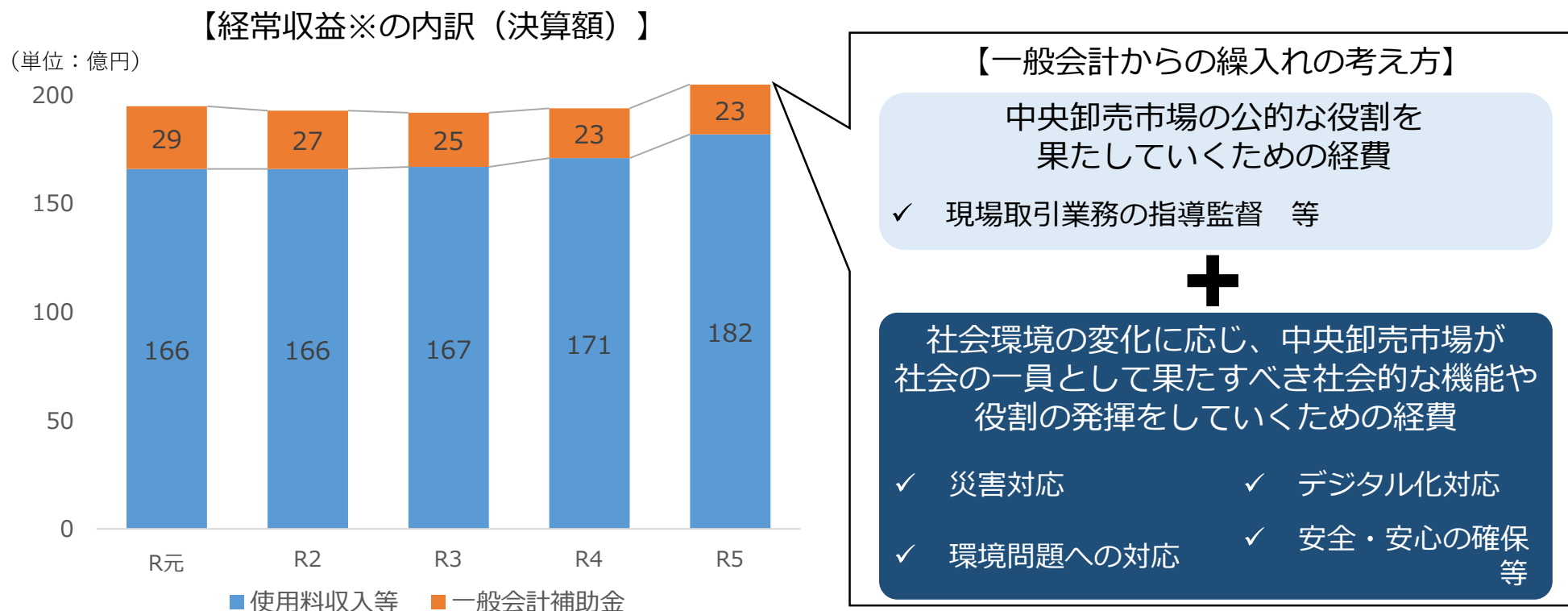


（出典）「令和4年度地方公営企業年鑑」（総務省）より作成

一般会計からの繰入れ

- 経営計画では、一般会計からの繰入れの対象となる経費のあり方について、災害対応やデジタル化対応、環境問題への取組、安全・安心の確保など、社会環境の変化に応じ、中央卸売市場が社会の一員として果たすべき社会的な機能や役割の発揮に向けて、見直しを図る必要があるとしています。
- そのため、都民に対する説明責任を果たすことを前提として、一般会計で負担すべき行政的経費と市場使用料で負担すべき営業的経費の対象の見直しに向けた検証を行っていきます。

一般会計からの繰入れの推移と考え方



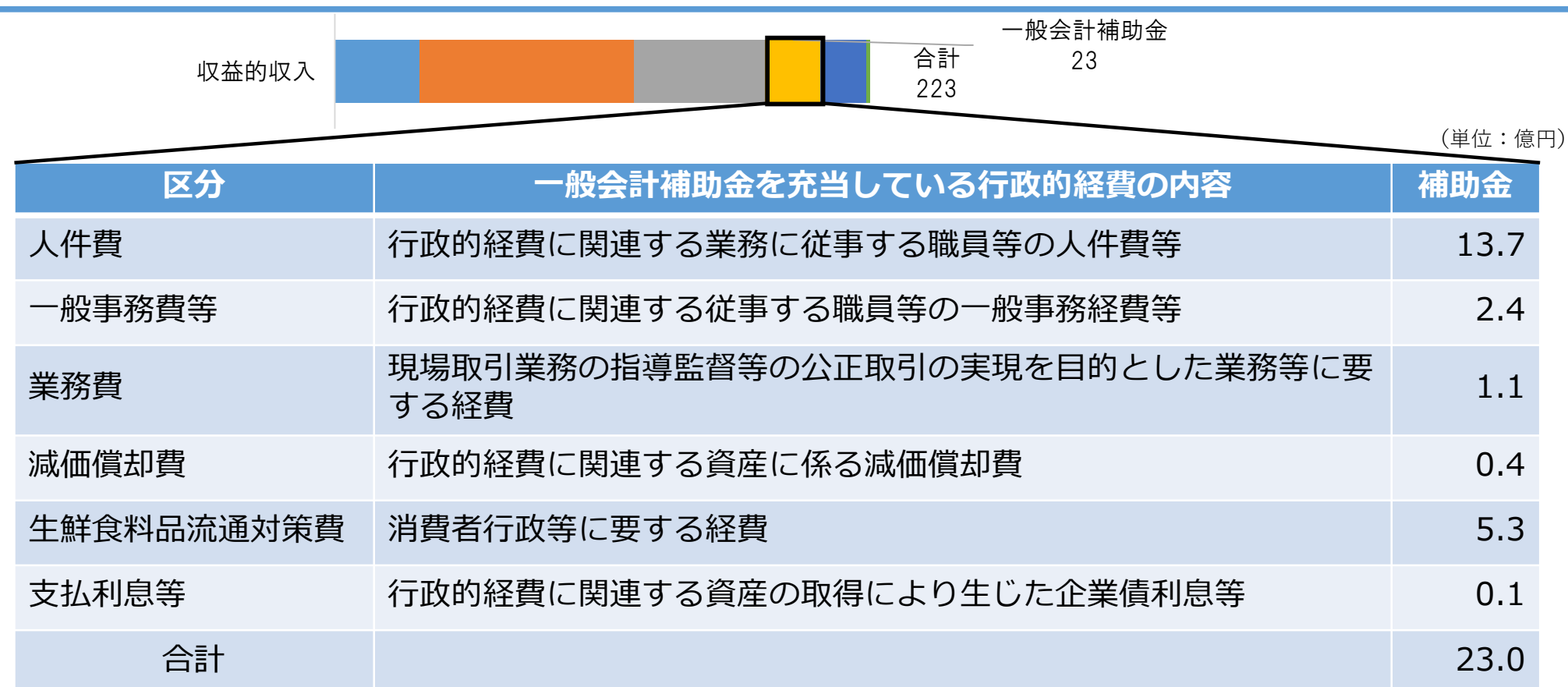
※経常収益：営業収益（使用料収入、雑収益）＋営業外収益（一般会計補助金、受取利息等）

（出典）「経営計画」及び令和5年度決算等より作成

一般会計からの繰入れ（補助金の内訳（令和5年度決算））

- 一般会計で負担する行政的経費については、現場取引業務の指導監督等の公正取引の実現を目的とした業務など、中央卸売市場の公的な役割を果たしていくための経費を対象としています。
- 令和5年度決算における一般会計からの繰入額は、約23億円となり、令和4年度と比較して、約350万円の減少となっております。

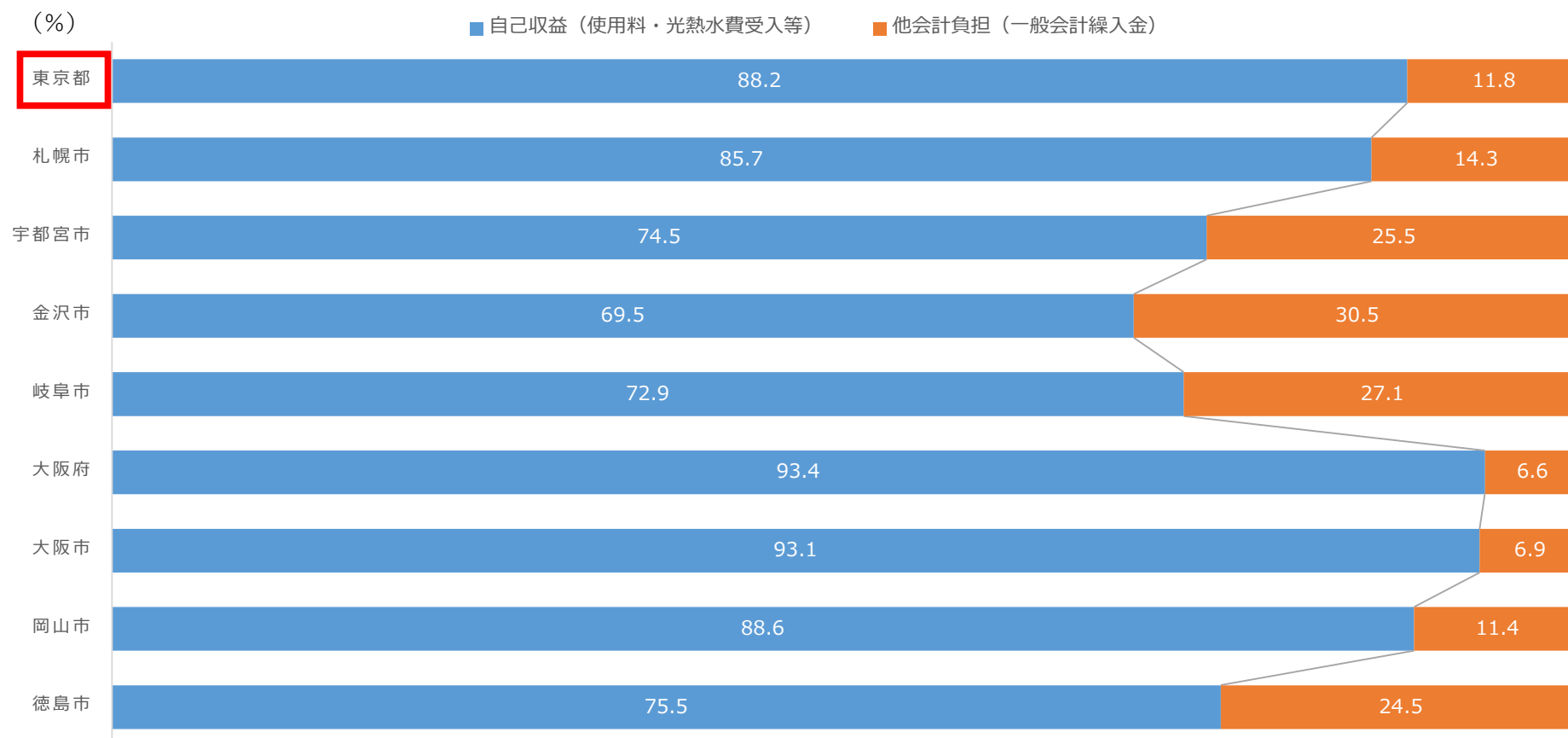
令和5年度一般会計補助金の内訳（決算）



他都市の中央卸売市場の一般会計の繰入れ状況

- 地方公営企業法を適用している9都市のそれぞれの会計の、経常収益に占める自己収益と他会計負担の割合で比較しました。

経常収益に占める自己収益と他会計負担の割合（他都市比較：決算ベース）



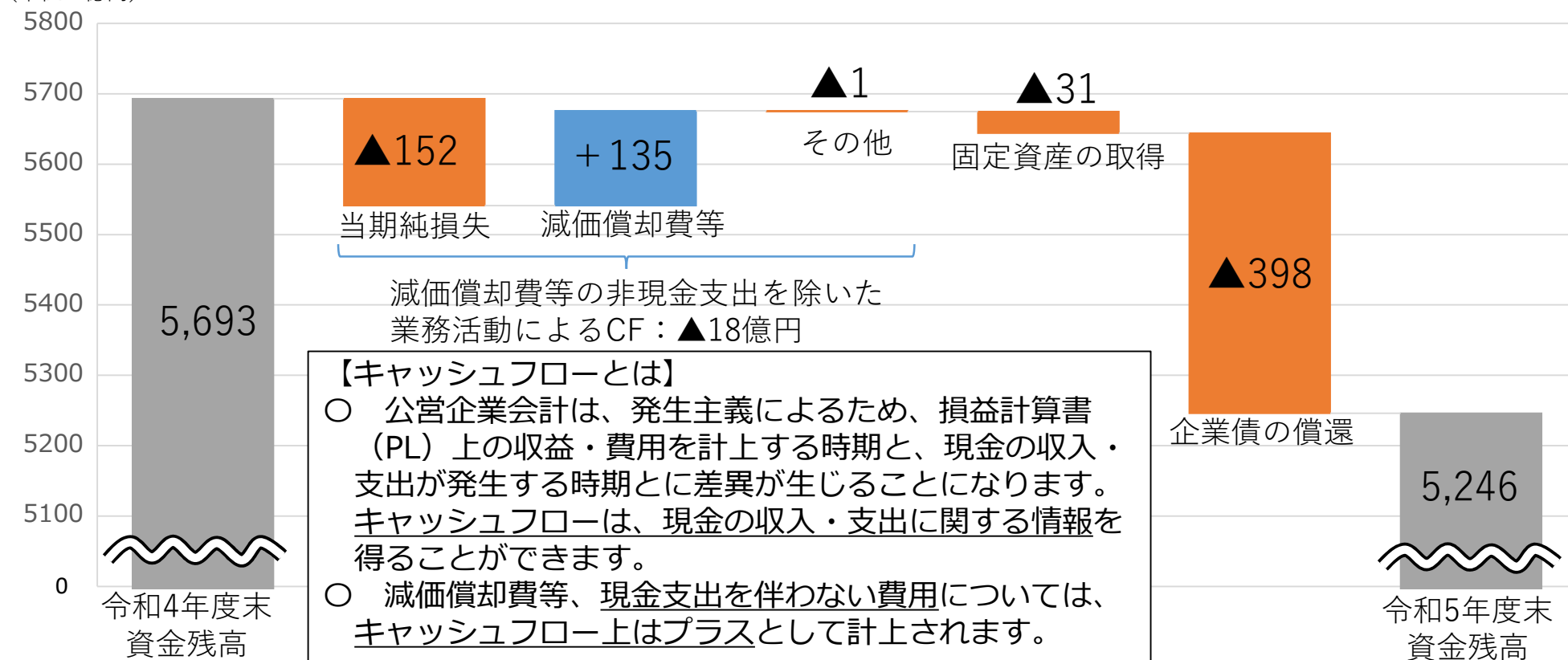
（出典）「令和4年度地方公営企業年鑑」（総務省）より作成

令和5年度決算のキャッシュフロー分析

- 令和5年度におけるキャッシュフローの増減を分析したところ、現金支出（キャッシュアウト）の主な要因は、企業債の償還による支出となっております。

令和5年度キャッシュフロー分析

(単位：億円)



(注) 各項目の概要は以下の通り

当期純損失：収益的収支（税抜）（収益的収入-収益的支出）

減価償却費等：減価償却費や、資産減耗費の一部等の非現金支出の合計額

その他：非現金収入（長期前受金戻入等）や、未収金、未払金等の合計額

固定資産の取得：建設改良費（資本的支出-企業債償還金）（税抜）に、建設改良にかかる未払金・前払金を含めた額

企業債の償還：企業債償還金（資本的支出）

令和5年度の実績と財政収支計画

- 令和5年度決算の経常損失は約105億円であり、経営計画における財政収支計画で示した136億円の経常損失と比較して、令和5年度決算が財政収支計画を約31億円上回る状況となりました。

令和5年度実績と財政収支計画

(単位：億円)

区分									
	令和4年度			令和5年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	計画	決算	増減	計画	決算	増減	計画	計画	計画
営業収益	162	152	▲ 10	164	163	▲ 1	166	168	170
営業外収益	38	42	4	37	42	5	37	37	37
収益計	200	194	▲ 6	201	205	4	203	205	207
営業費用	315	296	▲ 19	315	290	▲ 25	316	317	319
営業外費用	25	21	▲ 4	22	20	▲ 2	14	10	6
支出計	340	317	▲ 23	337	310	▲ 27	330	327	325
営業収支	▲ 153	▲ 144	9	▲ 151	▲ 127	24	▲ 151	▲ 149	▲ 149
経常収支	▲ 140	▲ 123	17	▲ 136	▲ 105	31	▲ 127	▲ 122	▲ 118
当年度末累積資金残	5,555	5,629	74	5,041	5,164	123	4,415	3,034	2,183

※当年度末累積資金残：流動資産から流動負債（企業債を除く）等を減じた1年以内に現金として利用可能な正味の額のこと

3. 経営改善の取組

市場会計における今後の課題

目標：持続可能な市場経営の実現に向けて

課題①：費用縮減

→（これまでの取組）

- **市場運営費の縮減**や、**新規企業債の発行抑制による支払利息の圧縮**

（今後の取組）

- **民間経営手法の活用**（アウトソーシングの拡大等）に関する検討

課題②：収入確保

→（これまでの取組）

- **未利用施設について、市場業者による利用促進を推進**

- **使用料以外の財源（一般会計の繰入れ、国庫補助金）の見直し**

（今後の取組）

- **未利用施設の洗い出しと活用**に関する検討



今後の課題：更なる経営改善の取組

→（今後の取組）

- **市場会計の精緻な経営分析・検証と意見交換の実施**

経営改善の取組①（市場運営費の縮減）

- 経営計画では、市場運営費の縮減等の当面の経営改善の取組を着実に実施することとしています。
- これまで、植栽管理委託の運用方法の見直しといった施設管理の委託経費等を削減することによる市場維持管理費の縮減を行ってきました。
- 令和7年度予算においては、各市場のLED化推進による電気料金の削減等、引き続き市場運営費の縮減を進めていきます。

主な取組内容

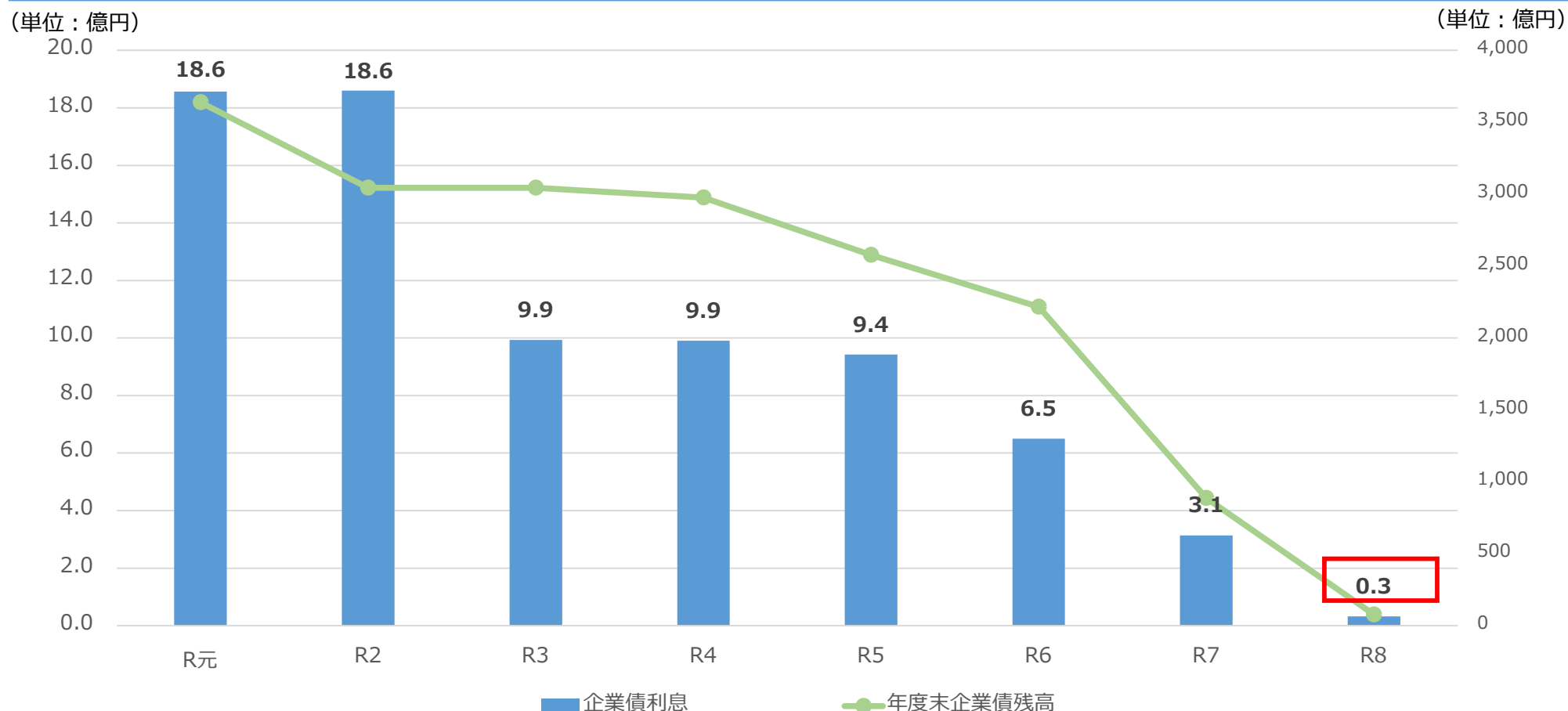
令和4年度～5年度の取組		令和7年度の取組
＜市場運営費を縮減した主な取組＞ 植栽管理委託の運用方法の見直しといった、一般施設管理等の施設管理経費を見直し （改善内容） ・ 豊洲市場におけるロボット芝刈機の契約内容等 の見直し		＜主な縮減事項＞ ✓ 各市場のLED化推進による電気料金の削減 ✓ ペーパーレス化に伴う用紙代やファクシミリ契約台数の見直しによる経費の減 ✓ 各場の無線LAN環境の整備に伴うリモート会議活用による旅行回数の減 ⇒引き続き委託経費の見直し等の市場運営費の縮減を進めていく
年度	削減額	
令和4年度	▲約200万円	
令和5年度	▲約1,000万円	

（出典）「経営計画」、令和7年度予算及び令和5年度決算等より作成

経営改善の取組②（起債抑制による支払利息の圧縮）

- 費用縮減の取組の一つとして、新規企業債の発行抑制による支払利息の圧縮に取り組んでおり、令和6年度においても、新規企業債の発行はしていません。
- 経営計画期間中に新規企業債を発行しない場合、令和8年度の支払利息は約3,000万円になると見込まれます。

今後の企業債利息と企業債残高の見込み



経営改善の取組③（未利用資産の有効活用）

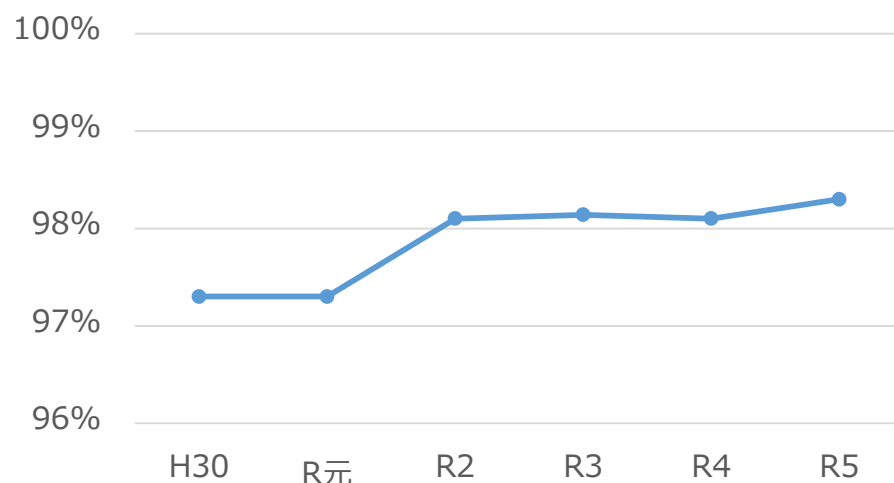
- 経営計画では、未利用資産について、市場業者による利用促進を図るとともに、市場業者以外の利用など、更なる活用方法を検討することとしています。
- 令和6年度には、豊洲市場や大田市場等において、未利用資産の新規募集による収入確保を行いました。
- 今後は、各市場における未利用施設の洗い出しと活用に関する検討に加え、未利用資産の活用に向けた原状回復等を進めていきます。

主な取組内容

主な取組

➤ 未利用施設の利用促進を推進

【市場施設利用率（※）】



※市場施設として使用可能な面積に対して、使用を許可している面積の割合

【未利用資産の活用に向けた取組】

■ 未利用資産の新規募集による収入確保

（主な取組事例）

- ・ 豊洲市場：関連事業者の公募
- ・ 大田市場：事務室等の大田市場の市場業者内での募集 等



■ 未利用資産の活用に向けた原状回復

⇒将来の使用料収入確保の観点から、令和7年度予算において、修繕が必要な施設の原状回復経費等を計上

（令和7年度予算：約9,000千円）

（出典）「経営計画」、令和7年度予算及び令和5年度決算等より作成

4. 市場活性化に向けた取組

東京都中央卸売市場における市場活性化に向けた取組（全体マップ）

生鮮品等の安定供給、市場流通の付加価値を高めていく取組はもとより、社会的課題にも向き合いながら、生鮮食料品等流通の中核拠点である中央卸売市場を活性化

市場活性化に向けた取組

生鮮品等安定供給、公平公正な
市場取引の実現に必要な取組

市場流通の
付加価値（競争力）向上の取組

公共施設として、卸売市場の
存在価値を高めるための取組

I 取引の基盤となる市場施設の整備

老朽施設の維持更新

市場機能の強化

II 取引の担い手である市場業者の経営基盤強化

市場業者の経営安定化への支援

市場業者の経営革新への支援

III 社会的課題への取組

災害時対応、環境負荷低減、開かれた市場（食の情報発信等） 等

社会的課題（SDGs、働き方改革）に対応した経営への支援 等

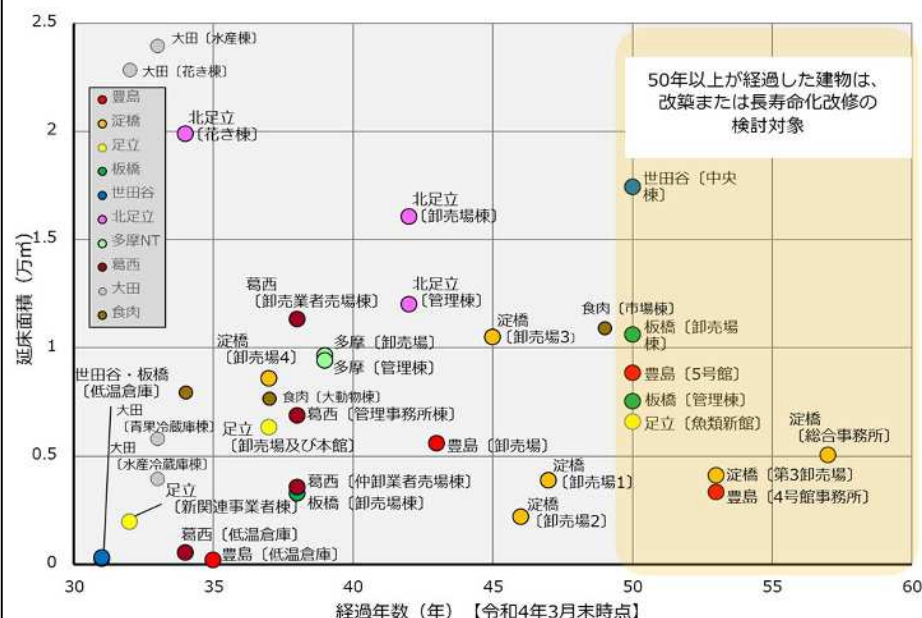
IV 強固で弾力的な財務基盤の確立に向けた取組

I 市場施設の施設整備

- 市場施設は老朽化しており、今後、維持更新需要が増大する見込みである。都は、経営計画において、市場施設の維持更新について、2040年代の東京の人口減少を見据え、規模の適性を前提として計画的に進めていく必要があるとしています。

【市場施設の状況】

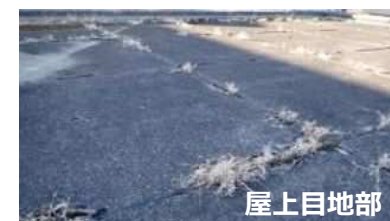
◆ 建設時から30年以上が経過する市場施設 ◆



◆ 劣化度調査結果の概要 ◆

■ 建築（意匠）

- 屋上は、ルーフトレン付近や目地部などから雑草繁茂や笠木モルタルの剥離等、経年による欠損あり
- 外壁は、ひび割れ等の劣化が相当進行、修復の必要有り



■ 躯体（構造）

- 新耐震※1の施設では、コンクリート強度試験の結果、設計基準強度を上回り、十分な強度が確保
- 旧耐震※2の施設（耐震補強済）では、一部で設計強度以下の部分もあり、躯体の防水や塗装などの改修が必要

※1 昭和 56 年6月1日以後の耐震基準 ※2 昭和 56 年6月1日見直し前の耐震基準

今後、必要性や優先度等を検証した上で建物ごとに改修や建て替え等の方針を決定

【今後の課題等】

- 各市場の劣化度状況を基に、財政や利用状況などを踏まえ、建物毎の維持更新計画を策定し、令和8年度末までに市場別の工事計画（マスタープラン）を取りまとめる予定
- 加えて、包括外部監査人からは、市場全体の最適化観点からの長期的な視点での施設整備のあり方を検討するよう求められている。

Ⅱ 市場業者の経営基盤の強化

- 人口減少等や流通チャネルの多元化等による市場経由率の低下、物価高騰の影響等、市場業者の経営環境は厳しい。都は、市場の活性化に向け、経営の専門家と連携をしながら、市場業者の経営安定化や経営革新に向けた取組を後押ししています。

【市場独自の経営支援策】

①経営相談事業

販路開拓や資金繰りなど、市場業者が抱える経営上の課題に対し、専門家（中小企業診断士、公認会計士、社会保険労務士等）を無料で派遣

②アドバイザー事業

公認会計士等が、各市場を定期的に訪問し、市場業者の意欲ある取組に対して助言等を行うとともに、経営上のよろず相談に対応

③情報発信等

環境変化に柔軟に対応できるよう市場業者の行動変革を促すため、旬なビジネス情報や補助事業の活用事例等を、経営セミナーや情報誌などにより発信

④補助事業

販路開拓やデジタル活用、人材確保など、環境変化に即した市場業者の経営革新に向けた取組に要する費用の一部（補助率2分の1～）を経営強靱化推進事業により後押し

【今後の課題等】

- 市場業者が、販路の多角化や事業承継等の経営課題に自律的に取り組めるよう、社会経済情勢や現場実態に沿った支援に努めていく。

補助金のご案内

令和6年度 東京都中央卸売市場

経営強靱化 推進事業 補助金

補助対象期間：令和6年4月1日～令和7年2月27日
受付期間（予定）：令和6年4月1日～令和6年12月27日

昨年度からの主な変更点

- 「区分1～5（人材確保支援）」「区分7（物流対策）」を新設
- 2か所にかつた補助金を補助事業とする区分を新設

【各区分にわたる補助率を補助対象とする区分】

- 区分1：売上増進助成 NEW
- 区分2：売上増進助成 NEW
- 区分3：売上増進助成 NEW
- 区分4：売上増進助成 NEW
- 区分5：売上増進助成 NEW
- 区分6：売上増進助成 NEW
- 区分7：物流対策助成 NEW
- 区分8：物流対策助成 NEW
- 区分9：物流対策助成 NEW
- 区分10：物流対策助成 NEW
- 区分11：物流対策助成 NEW
- 区分12：物流対策助成 NEW
- 区分13：物流対策助成 NEW
- 区分14：物流対策助成 NEW
- 区分15：物流対策助成 NEW
- 区分16：物流対策助成 NEW
- 区分17：物流対策助成 NEW
- 区分18：物流対策助成 NEW
- 区分19：物流対策助成 NEW
- 区分20：物流対策助成 NEW
- 区分21：物流対策助成 NEW
- 区分22：物流対策助成 NEW
- 区分23：物流対策助成 NEW
- 区分24：物流対策助成 NEW
- 区分25：物流対策助成 NEW
- 区分26：物流対策助成 NEW
- 区分27：物流対策助成 NEW
- 区分28：物流対策助成 NEW
- 区分29：物流対策助成 NEW
- 区分30：物流対策助成 NEW
- 区分31：物流対策助成 NEW
- 区分32：物流対策助成 NEW
- 区分33：物流対策助成 NEW
- 区分34：物流対策助成 NEW
- 区分35：物流対策助成 NEW
- 区分36：物流対策助成 NEW
- 区分37：物流対策助成 NEW
- 区分38：物流対策助成 NEW
- 区分39：物流対策助成 NEW
- 区分40：物流対策助成 NEW
- 区分41：物流対策助成 NEW
- 区分42：物流対策助成 NEW
- 区分43：物流対策助成 NEW
- 区分44：物流対策助成 NEW
- 区分45：物流対策助成 NEW
- 区分46：物流対策助成 NEW
- 区分47：物流対策助成 NEW
- 区分48：物流対策助成 NEW
- 区分49：物流対策助成 NEW
- 区分50：物流対策助成 NEW
- 区分51：物流対策助成 NEW
- 区分52：物流対策助成 NEW
- 区分53：物流対策助成 NEW
- 区分54：物流対策助成 NEW
- 区分55：物流対策助成 NEW
- 区分56：物流対策助成 NEW
- 区分57：物流対策助成 NEW
- 区分58：物流対策助成 NEW
- 区分59：物流対策助成 NEW
- 区分60：物流対策助成 NEW
- 区分61：物流対策助成 NEW
- 区分62：物流対策助成 NEW
- 区分63：物流対策助成 NEW
- 区分64：物流対策助成 NEW
- 区分65：物流対策助成 NEW
- 区分66：物流対策助成 NEW
- 区分67：物流対策助成 NEW
- 区分68：物流対策助成 NEW
- 区分69：物流対策助成 NEW
- 区分70：物流対策助成 NEW
- 区分71：物流対策助成 NEW
- 区分72：物流対策助成 NEW
- 区分73：物流対策助成 NEW
- 区分74：物流対策助成 NEW
- 区分75：物流対策助成 NEW
- 区分76：物流対策助成 NEW
- 区分77：物流対策助成 NEW
- 区分78：物流対策助成 NEW
- 区分79：物流対策助成 NEW
- 区分80：物流対策助成 NEW
- 区分81：物流対策助成 NEW
- 区分82：物流対策助成 NEW
- 区分83：物流対策助成 NEW
- 区分84：物流対策助成 NEW
- 区分85：物流対策助成 NEW
- 区分86：物流対策助成 NEW
- 区分87：物流対策助成 NEW
- 区分88：物流対策助成 NEW
- 区分89：物流対策助成 NEW
- 区分90：物流対策助成 NEW
- 区分91：物流対策助成 NEW
- 区分92：物流対策助成 NEW
- 区分93：物流対策助成 NEW
- 区分94：物流対策助成 NEW
- 区分95：物流対策助成 NEW
- 区分96：物流対策助成 NEW
- 区分97：物流対策助成 NEW
- 区分98：物流対策助成 NEW
- 区分99：物流対策助成 NEW
- 区分100：物流対策助成 NEW

補助対象となる取組

申請方法

問合せ先 | 各市場東京都事務所

経営強靱化推進事業補助金

東京都中央卸売市場

情報誌vol. 7

市場関係者向け

情報誌

いちば通信

【特集】
各種補助金等の紹介

令和6年度 上半期号

情報誌による好事例の共有

Ⅲ 社会的課題への取組

- サステナブルな社会の実現、社会的責任に基づいた企業行動が、ブランド力や競争力の強化に重要な要素となっている。都は、卸売市場の魅力を高め活性化に繋げていくためにも、社会の一員として果たすべき機能や役割の一層の発揮に向けて取り組んでいます。

【社会的課題への取組（例）】

環境問題への取組
(太陽光パネルの設置)



地域社会との共生
(食育・花育)



防災面
(市場での防災訓練)



物流2024年問題への取組
(パレット化による荷役作業時間短縮)



産地と連携したパレット化による輸送試験
(大田)。→荷役負担を大幅軽減

【今後の課題等】

- 経営計画では、市場事業のサステナブル化として、環境問題への取組、地域社会との共生、働き方改革・ダイバーシティの推進を掲げ、各施策に取り組んでいる。
- 特に、環境問題や震災への対応等喫緊の課題には、外部知見を活用するなどして、より実効性の高い取組となるよう努めていく。

Ⅳ 強固で弾力的な財務基盤の確保

- 持続可能な市場運営に向け、強固で弾力的な財務基盤の確保に取り組むことが重要。都は、市場会計の収支改善を図るため、費用縮減や収入確保といった内部努力に取り組むとともに、更なる経営改善に向け、業界との意見交換を実施しています。

【業界との意見交換を踏まえた論点整理】

業界との意見交換（令和6年2月～7月）の主な内容

- 令和6年度予算の概要
- 令和4年度の経営改善の取組
- 財政収支の現状と推移・財政収支見通し

	業界との意見交換（令和6年2月～7月） を踏まえた主な論点	業界との意見交換（R7年3月～） の主な内容
①	市場会計全体の収入・支出の状況等を把握・分析	■ 管理費（人件費・施設管理費等）の分析（推移・他都市との比較） 等
②	市場の公共的役割を踏まえた市場運営	■ 一般会計からの繰入れに関する分析（内訳・他都市との比較） 等

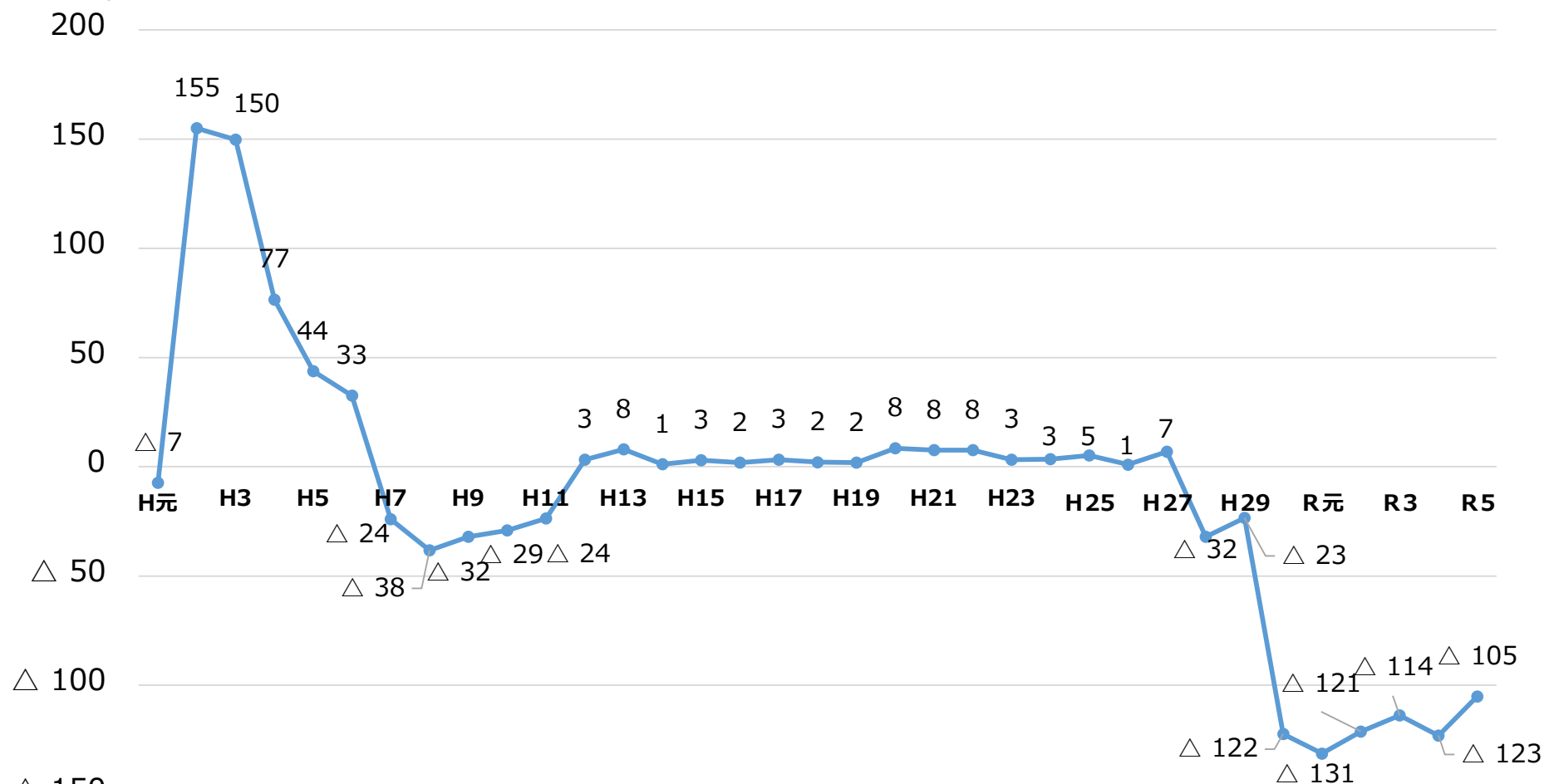
参考資料

経常収支の推移と現状

- 市場会計の経常収支は、平成2年度に運用利息により黒字に転換しましたが、運用利息の減少に伴い収支が年々悪化し、平成7年度に赤字に転じました。その後、平成12年度の使用料改定等により、黒字を維持していましたが、平成28年度に赤字に転じました。

経常収支の推移

(単位：億円)

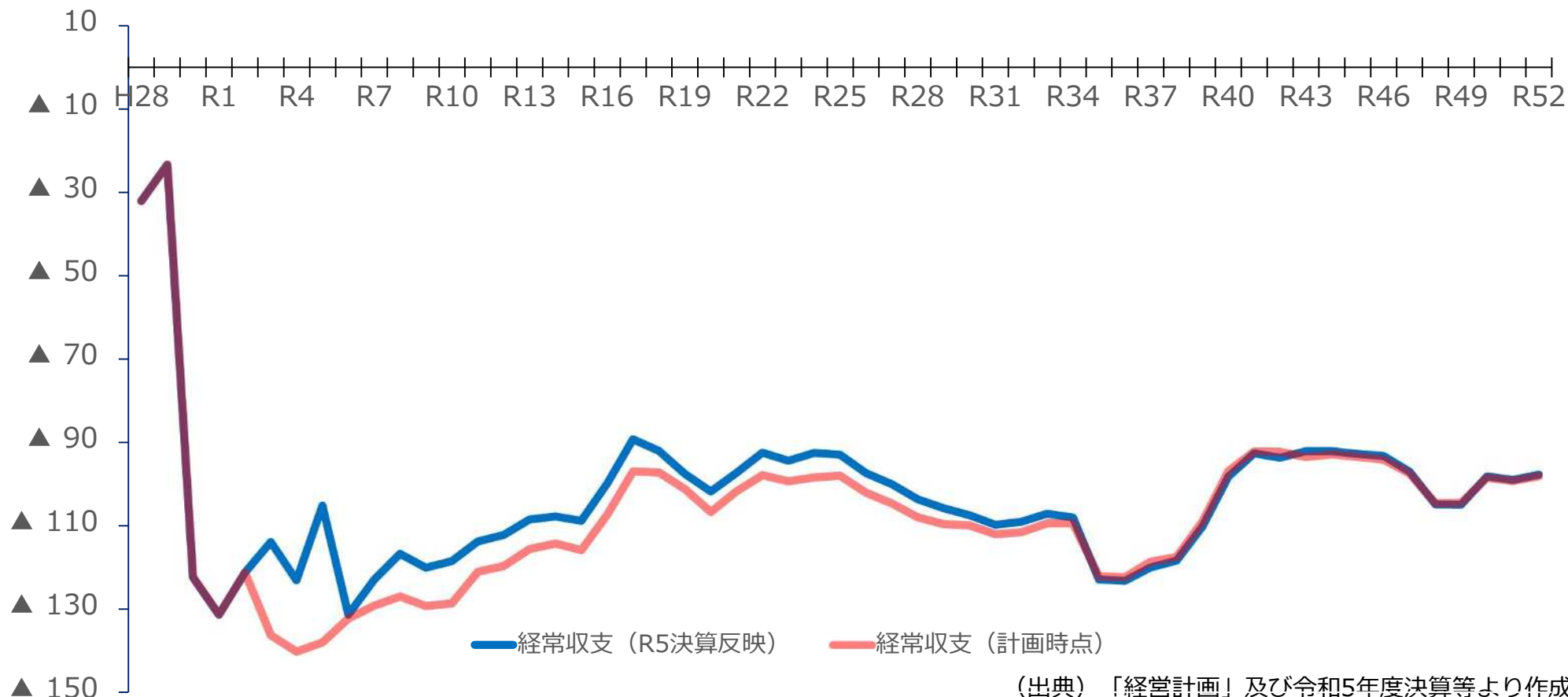


長期収支（経常収支ベース）

- 経営計画における長期収支では、過去の傾向等に基づき、売上高割使用料収入が5年毎に3%ずつ減少していくことを想定した場合、経常収支は黒字化しないと試算しています。
- 令和5年度決算を反映させた場合の長期収支でも、経常収支は依然として赤字で推移する試算結果となりました。

経営計画時点及び直近の実績等を踏まえた長期収支

(単位：億円)

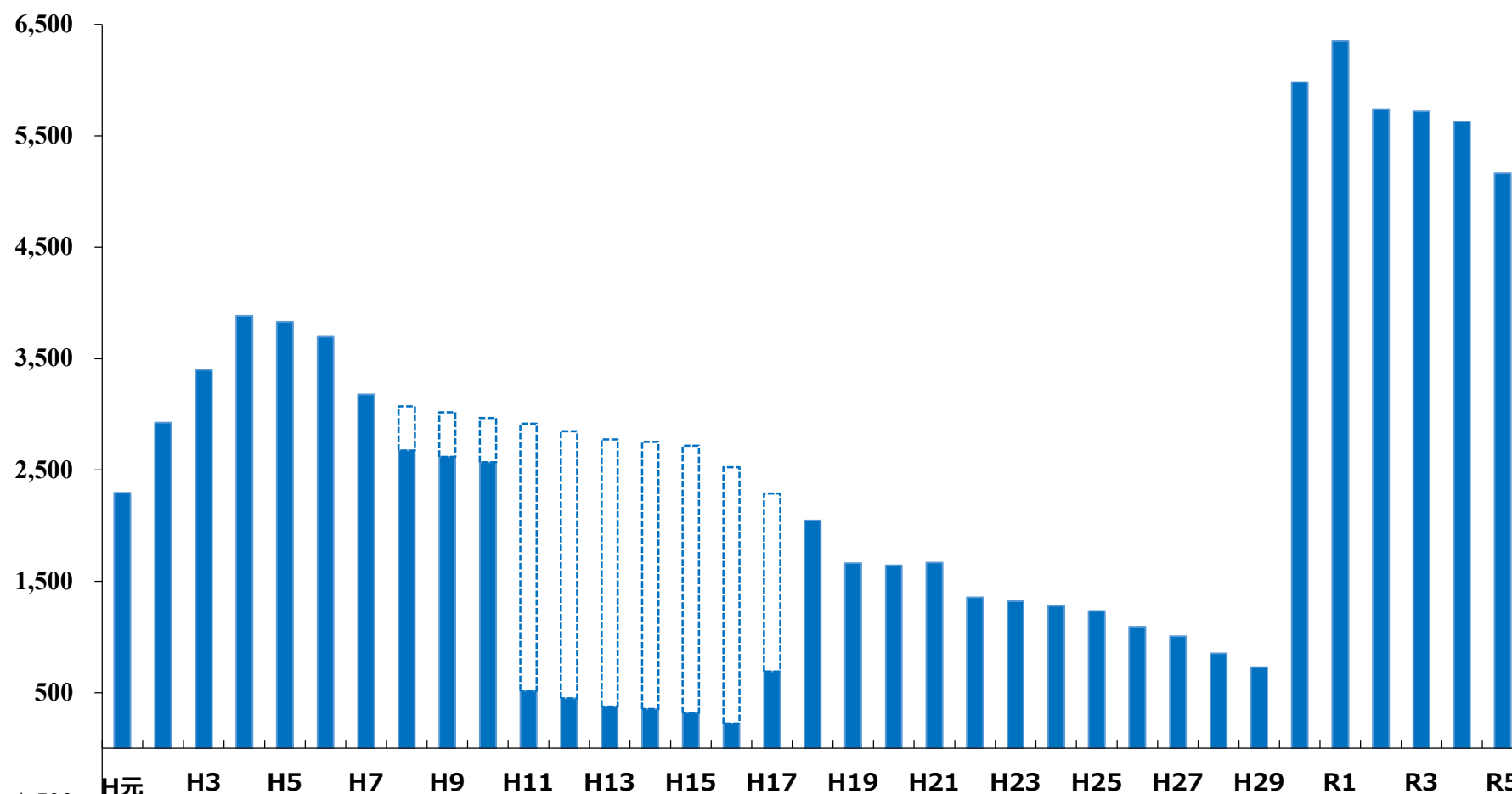


資金収支の推移と現状

- 市場会計の資金収支は、神田市場等跡地の有償所管換や運用利息により、資金は増加したものの、その後、施設整備等で年々減少しています。その後、平成30年度に、旧築地市場跡地の一般会計への有償所管換により、資金は増加しています。

資金収支の推移

(単位：億円)



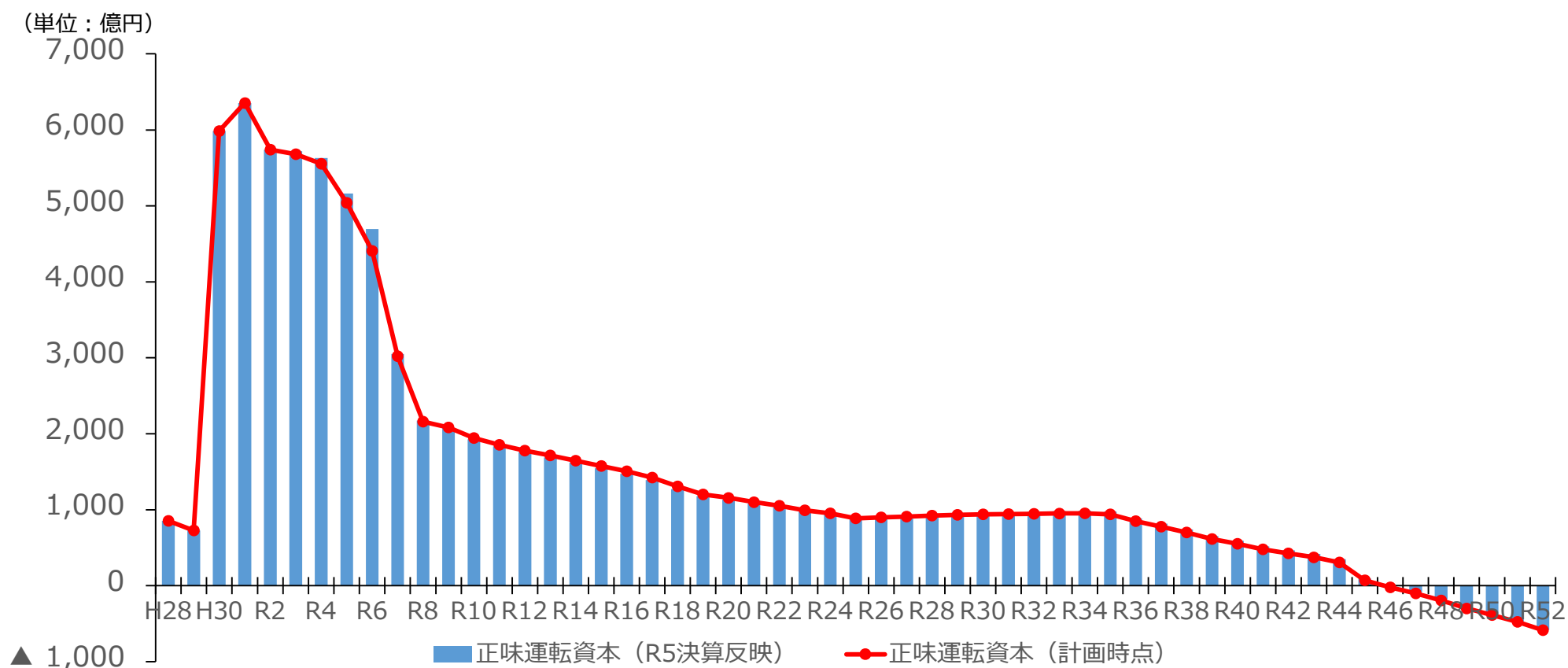
※ 市場会計から一般会計への貸付 (は貸付額) — 34 —

(出典) 各年度決算より作成

長期収支（資金収支ベース）

- 経営計画における長期収支では、過去の傾向等に基づき、売上高割使用料収入が5年毎に3%ずつ減少していくことを想定した場合、令和46（2064）年度に資金ショートが発生すると試算しています。
- 令和5年度決算を反映させた場合の長期収支でも、令和46（2064）年度に資金ショートが発生する試算結果となりました。

経営計画時点及び直近の実績等を踏まえた長期収支



（出典）「経営計画」及び令和5年度決算等より作成

市場会計の仕組み①（収益的収支）

- 収益的収支は、当該年度の企業の経営活動に伴い発生する全ての収益と、それに対応する全ての費用から構成されています。

市場会計における収益的収支の内訳

収入

営業収益			営業外収益			特別利益
売上高割 使用料	施設使用料	雑収益	一般会計 補助金	受取利息等	雑収益等	特別利益

支出

営業費用				営業外費用			特別損失
管理費	業務費	減価償却 費	資産減耗 費	生鮮食料品 流通対策費	支払利息 等	雑支出等	特別損失

- （注）管理費：人件費や市場施設の維持管理に要する経費
 業務費：市場取引の指導監督等に要する経費
 生鮮食料品流通対策費：生鮮食料品の流通対策事業等に要する経費

（出典）東京都中央卸売市場勘定科目表より作成

市場会計の仕組み②（資本的収支）

- 資本的収支は、施設の建設や価値の増加のために要する支出と、その財源となる収入で構成されています。

市場会計における資本的収支の内訳

収入

企業債	一般会計 出資金	国庫補助金	その他 資本収入	(損益勘定留保資金等)
-----	-------------	-------	-------------	-------------

（注）損益勘定留保資金：収益的支出の内、現金支出を必要としない費用のことで、資本的収入が資本的支出に不足している場合に補てんすることができる

支出

建設改良費			企業債償還金	投資等
施設拡張費	施設改良費	資産購入費		

（出典）東京都中央卸売市場勘定科目表より作成

